

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-314401

(43) 公開日 平成4年(1992)11月5日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

A 4 5 C 13/36

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 2119-3B

Z 2119-3B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平3-19241

(22) 出願日 平成3年(1991)1月21日

(71) 出願人 591026997

株式会社丸和エコー

東京都台東区竜泉2-20-9

(72) 発明者 金子 勝 吉

東京都台東区竜泉2丁目20番9号 株式会  
社丸和エコー内

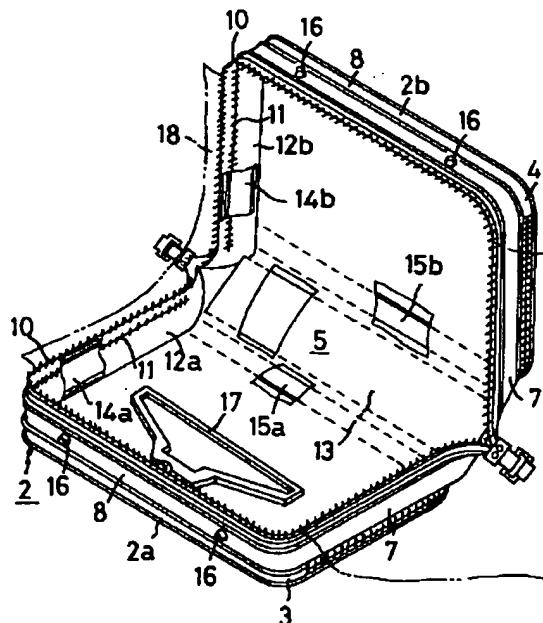
(74) 代理人 弁理士 中川 周吉 (外1名)

(54) 【発明の名称】 スーツケース

(57) 【要約】

【目的】 本発明はスーツケースの両側襜部を補強し、これによって、襜部が内側に湾曲することを防止しようとするものである。

【構成】 上面部5、底部8、両側の襜部6、7よりなるケース本体2のほぼ中央部にスライドファスナー10を設けて構成したスーツケース1に於いて、分割ケース本体2a、2bの内面に袋部12a、12bを設け、コ状補強枠体14a、14bを夫々これ等の袋部12a、12bに収納し、かつコ状補強枠体14a、14bの開口部を内側から支持し得る補強板15a、15bを上面部5の両側に埋設して構成したスーツケースである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上面部、底部、両側襜部よりなるケース本体の該底部及び両側襜部のほぼ中央部にスライドファスナーを設けることによってケース本体をそのほぼ中央部で巾広く開閉し得るスーツケースに於いて、前記スライドファスナーで2分割される底部及びこれに続く両側襜部の両側の内側面に設けられた袋部内に、コ状補強枠体を収納し、かつ該コ状補強枠体の閉口部を内側から支持し得る補強板を前記ケース本体の上面部両側に埋設して構成したことを特徴としたスーツケース。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はスーツケースに係り、特にケース本体の両側襜部及び底部を一体的に補強することを可能としたスーツケースに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来のこの種のスーツケースは、例えば特公昭61-55361号公報、同60-23601号公報、特公平1-10202号公報、同1-39766号公報或いは実公平1-20896号公報等に示す如く、ケース本体の片側部或いは両側部に夫々スライドファスナーを設け、ケース本体を片側部或いは両側部で開閉するのが一般的であった。

【0003】 しかし、これ等の場合には、ケース本体を中央部で巾広く開くことが出来ない為、一部には実公昭58-43880号公報に示す如く、ケース本体のほぼ中央部にスライドファスナーを設け、これによってケース本体をほぼ中央部から巾広く開き得るようにした技術もあった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 然るに、前者のケース本体の片側部或いは両側部にスライドファスナーを設け、中央部から離れた側部で開閉し得るようにしたスーツケースの場合には、ケース本体の全周に配設される矩形状枠体をケース本体の中央部に配設して構成することが出来るので、ケース本体の強度、特に両襜部の強度を十分に補強することが出来た。

【0005】 しかし、後者のスーツケースのように、ケース本体の中央部にスライドファスナーを設け、これによってケース本体を中央部から2つ割りに、巾広く開くようにしたスーツケースに於いては、前述の如き矩形状枠体を配設することが困難である為、前記実公昭58-43880号公報に示すように、2つ割にしたケース本体の底部及びこれに連続する両側の襜部の一部に亘って夫々別々に補強パネルを配設して構成していた。

【0006】 所で、この様にケース本体の底部及び襜部の一部に補強パネルを配設して構成したスーツケースの場合には、スーツケースを搬送したり、積み込んだり、或いは落下したりして、スーツケースの襜部に外圧がかかると、特にこの襜部が内方に簡単に湾曲してしまい、

スーツケースを変形させる上に、スーツケース内に収納した品物を損傷せしめる等の問題があった。

【0007】 本発明に係るスーツケースは、前述の従来の問題点に鑑み開発した技術であって、特に中央部で巾広く2つ割りにされるスーツケースの、底部から両側の襜部を一体的に補強し、これによって襜部が内側に湾曲することを防止可能としたスーツケースを提供しようとするものである。

## 【0008】

10 【課題を解決するための手段】 本発明に係るスーツケースは、従来の問題点を根本的に改善した技術であり、その要旨は上面部、底部、両側襜部よりなるケース本体の該底部及び両側襜部のほぼ中央部にスライドファスナーを設けることによってケース本体をそのほぼ中央部で巾広く開閉し得るスーツケースに於いて、前記スライドファスナーで2分割される底部及びこれに続く両側襜部の両側の内側面に設けられた袋部内に、コ状補強枠体を収納し、かつ該コ状補強枠体の閉口部を内側から支持し得る補強板を前記ケース本体の上面部両側に埋設して構成したものである。

## 【0009】

【作用】 本発明に係るスーツケースは上述の如く、中央部に設けたスライドファスナーによって中央部から2分割して開閉し得るケース本体の底部及びそれに連続する両側の襜部に、夫々両方にコ状補強枠体を配設したので、これによって両側の襜部を補強し、これ等の襜部が外圧で全体的に内側に湾曲することを防止出来る。本発明のスーツケースに於いては、前記コ状補強枠体の閉口部を内側から支持し得る補強板をケース本体の上面部両側に埋設し、これによって底部及び襜部に配設されたコ状補強枠体の閉口部を内側から支持したので、特に該襜部の上部が内方に湾曲することを防止出来る。

【0010】 本発明に於いては、上述の如く、2分割されるケース本体の底部及び両側襜部の内側面に袋部を設けたので、コ状補強枠体はこの袋部の中に収納することが出来、これによってコ状補強枠体を極めて体裁良く、かつ簡単にケース本体に取り付けることが出来る。

## 【0011】

【実施例】 図により本発明に係るスーツケースの一実施例を具体的に説明すると、図1は本発明に係るスーツケースの要部の構成を示す斜視説明図、図2はその組立状態を示す一部切断説明図、図3はそのスーツケースの内部構成を示す斜視説明図、図4はそのスーツケースの外観図、図5はそのスーツケースの襜部が内側に湾曲しない原理を示す説明図である。

【0012】 図4に於いて、1は本発明に係るスーツケースであって、ケース本体2の両側にポケット3、4を夫々併設することによって構成されている。ケース本体2は上面部5、両側の襜部6、7及び底部8より形成され、上面部5には取手9が取り付けられている。ケース

3

本体2の両側の裾部6、7及び底部8の中央部には夫々一連のスライドファスナー10が設けられ、このスライドファスナー10によって、裾部6、7及び底部8を中央部から巾広く開くことが出来るように構成されている。

【0013】図1及び図2に於いて、ケース本体2は、底部8及びこれに連続する裾部6、7の中央部に設けたスライドファスナー10によって、左右に巾広く開いて両側に扁平状に載置することが出来るように構成されている。左右に開かれた分割ケース本体2a、2bの内側面には、夫々ファスナー11によって開閉し得る袋部12a、12bが底部8から両側の裾部6、7に亘って設けられている。この袋部12a、12bはファスナー11の外に、スナップ等の他の開閉手段が利用出来る。また、ケース本体2の上面部5の内部には巾広の補強上板13が埋設され、これによって上面部5を補強すると共に、前記取手9はこの補強上板13に取付固定されている。

【0014】14a、14bは夫々コ状補強枠体であって、前記分割ケース本体2a、2bの内面に設けられた袋部12a、12bに収納し得るように構成されている。15a、15bは該コ状補強枠体14a、14bの開口部を内側から支持し得る補強板であって、ケース本体2の上面部5の両側に夫々埋設し得るように構成されている。

【0015】上記コ状補強枠体14a、14bは、図2及び図5に示す如く、袋部12a、12bに収納した後、鉚16を介して底部8及び裾部6、7に夫々強固に一体的に固定されている。また、上記補強板15a、15bを上面部5の両側に取り付けるに当たっては、図4及び図5に示す如く、スーツケース1を組み立てた際に、これ等の補強板15a、15bが、裾部6、7に収納されたコ状補強枠体14a、14bの開口部の内側に位置するように、考慮されて取り付けられている。

【0016】本考案に係るスーツケース1の内部にはハンガー17が取り付けられており、従って、背丈の大きいオーバーやロングドレス等は、このハンガー17に掛けたまま、分割ケース本体2a、2bにまたがって収納することが出来る。図2及び図3に示す如く、スーツケ

4

ース1の内部には内装カバー18が設けられ、スーツケース1内に収納した品物を、この内装カバー18で更に被うことが出来るように構成されている。

【0017】

【発明の効果】本発明に係るスーツケースは、上述の如き構造と作用とを有するので、中央部で2分割されるケース本体の夫々の底部及び裾部を、コ状補強枠体及び補強板で補強することが出来、これによって特にケース本体の裾部が内側に湾曲することを防止することが出来る。従って、スーツケース内に収納した品物を保護し、かつスーツケースの変形を防止することが出来る。2分割されるケース本体の夫々の内面に袋部を設けたので、コ状補強枠体をこの袋部内に簡単かつ確実に収納して取り付けることが出来る。また、コ状補強枠体は袋部で完全に被覆されるので、体裁が良く、スーツ等の収納品がコ状補強枠体に触れることなく、収納品を保護することが出来る等の特徴を有するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るスーツケースの要部の構成を示す斜視説明図である。

【図2】組立状態を示す一部切断説明図である。

【図3】スーツケースの内部構成を示す斜視説明図である。

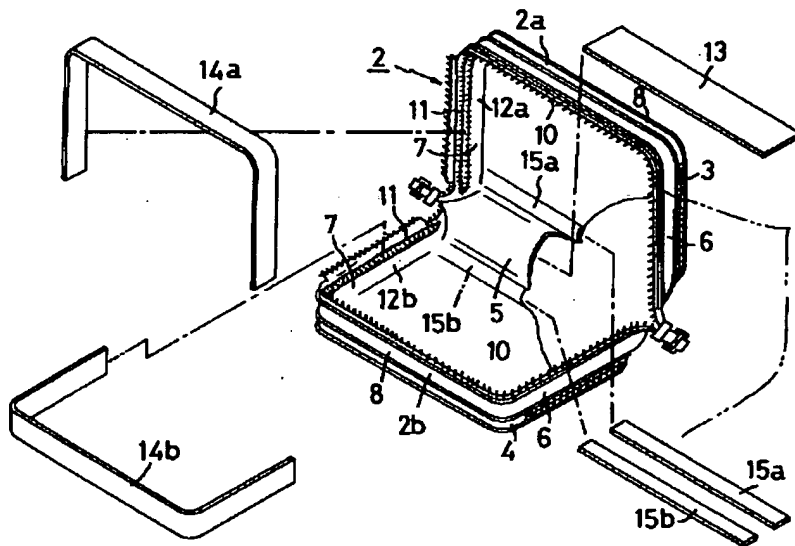
【図4】スーツケースの外観図である。

【図5】スーツケースの裾部が内側に湾曲しない原理を示す説明図である。

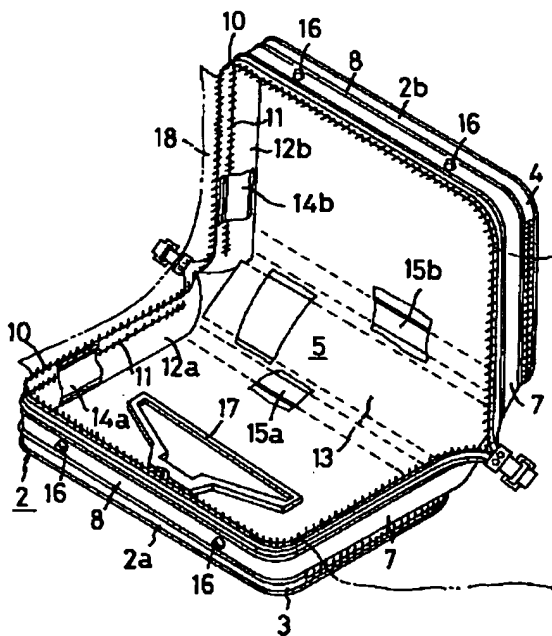
【符号の説明】

1	スーツケース
2	ケース本体
2a, 2b	分割ケース本体
3, 4	ポケット
5	上面部
6, 7	裾部
8	底部
10, 11	ファスナー
12a, 12b	袋部
13	補強上板
14a, 14b	コ状補強枠体
15a, 15b	補強板

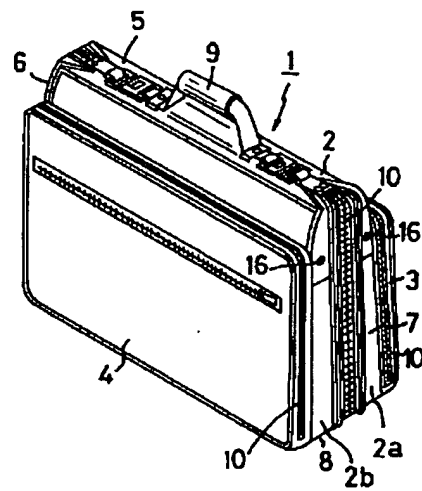
【図 1】



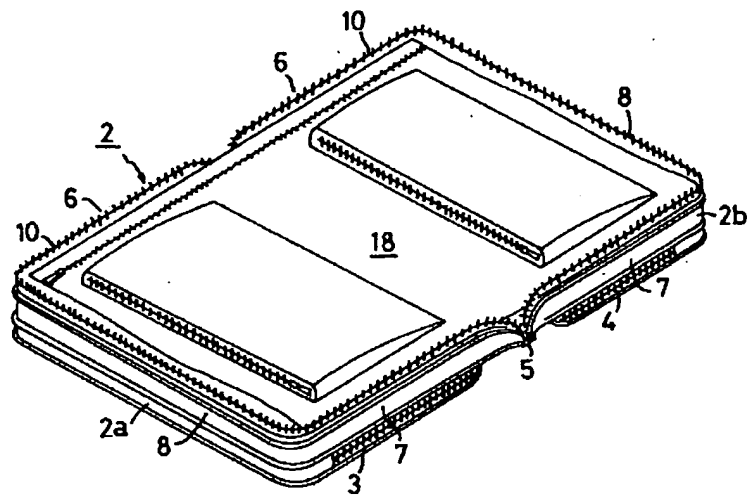
【図 2】



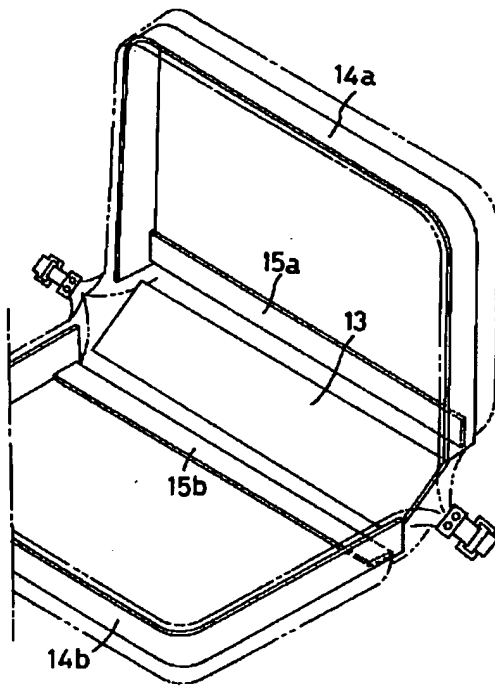
【图4】



【図3】



【図5】



PAT-NO: JP404314401A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04314401 A  
TITLE: SUITCASE

PUBN-DATE: November 5, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KANEKO, KATSUYOSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK MARUWA ECHO N/A	

APPL-NO: JP03019241

APPL-DATE: January 21, 1991

INT-CL (IPC): A45C013/36

US-CL-CURRENT: 190/122 , 190/127

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent gusset parts from being bent inside by reinforcing the gusset parts on both sides of a suitcase.

CONSTITUTION: A suitcase 1 includes a slide fastener 10 nearly at the central part of a case body 2 which consists of an upper face part 5, bottom parts 8 and gusset parts 6, 7 on both sides thereof. Bag parts 12a, 12b are respectively provided at each inside of split case bodies 2a, 2b and U-shaped reinforcing frame bodies 14a, 14b are respectively placed in these bag parts 12a, 12b. Reinforcing plates 15a, 15b wherewith openings of the U-shaped reinforcing frame bodies 14a, 14b are respectively supported from inside, are separately buried at each inside on both sides of the upper face 5.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio